



## CTI ルート ポイントの設定

Computer Telephony Integration (CTI) ルート ポイントでは、仮想デバイスを指定します。この仮想デバイスは、アプリケーションが宛先変更を制御している多重同時コールを受信することができます。

ファースト パーティ コールを制御するために、アクティブな音声回線ごとに CTI ポートをオプションで追加できます (CTI アプリケーションがこれを決定します)。CTI ルート ポイントおよび CTI ポートを使用するアプリケーションには、Cisco SoftPhone、Cisco IP Auto Attendant、および Cisco IP Interactive Voice Response System があります。Cisco Unified CallManager の管理ページに CTI ルート ポイントを追加した後、RIS Data Collector サービスからの情報が、[CTI ルート ポイントの設定 (CTI Route Point Configuration)] ウィンドウ内に表示されます。デバイスの IP アドレス、およびデバイスが登録されている Cisco Unified CallManager の名前が利用可能であれば、表示されます。

これらのアプリケーションに関連した CTI ルート ポイントおよび CTI ポートの設定方法については、各アプリケーションに付属の資料とオンライン ヘルプを参照してください。

ここでは、次の内容について説明します。

- [CTI ルート ポイントの検索 \(P.67-2\)](#)
- [CTI ルート ポイントの設定 \(P.67-3\)](#)
- [CTI ルート ポイントの設定値 \(P.67-4\)](#)
- [CTI ルート ポイントの削除 \(P.67-6\)](#)
- [CTI ルート ポイントのリセット \(P.67-7\)](#)

## CTI ルートポイントの検索

CTI ルートポイントを検索し、一覧表示する手順は、次のとおりです。

### 手順

---

**ステップ 1** [デバイス] > [CTI ルートポイント] の順に選択します。

[CTI ルートポイントの検索と一覧表示 (Find and List CTI Route Points)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 使用する検索条件を選択します。すべての項目を表示するには、検索テキストを入力しないか、検索条件として「デバイス名が空ではない」を使用します。

**ステップ 3** [検索] をクリックします。

ウィンドウの内容が更新され、指定された検索条件と一致する CTI ルートポイントのリストが表示されます。

**ステップ 4** 次の CTI ルートポイントのリストを表示するには、[次へ] をクリックします。



---

**(注)** [CTI ルートポイントの検索と一覧表示 (Find and List CTI Route Points)] ウィンドウから複数の CTI ルートポイントを削除するには、適切な CTI ルートポイントの横にあるチェックボックスをオンにし、[選択項目の削除] をクリックします。複数の CTI ルートポイントをリセットするには、適切な CTI ルートポイントの横にあるチェックボックスをオンにして、[選択項目のリセット] をクリックします。ウィンドウ内の CTI ルートポイントをすべて選択するには、[すべてを選択] をクリックします。

---

### 追加情報

P.67-7 の「関連項目」を参照してください。

## CTI ルート ポイントの設定

CTI ルート ポイントを追加または更新する手順は、次のとおりです。

### 手順

**ステップ 1** [デバイス] > [CTI ルートポイント] の順に選択します。

[CTI ルートポイントの検索と一覧表示 (Find and List CTI Route Points)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 次のいずれかの作業を行います。

- CTI ルート ポイントをコピーするには、該当するルート ポイントを見つけます (P.67-2 の「[CTI ルート ポイントの検索](#)」を参照)。[\[検索結果 \(Search Results\)\]](#) リストから、コピーする CTI ルート ポイントに対応する **[コピー (Copy)]** アイコンをクリックし、[ステップ 3](#) に進みます。
- 新規 CTI ルート ポイントを追加するには、**[新規追加]** ボタンをクリックします。[\[CTI ルートポイントの設定 \(CTI Route Point Configuration\)\]](#) ウィンドウが表示されます。[ステップ 3](#) に進みます。
- CTI ルート ポイントを更新するには、該当する CTI ルート ポイントを見つけます (P.67-2 の「[CTI ルート ポイントの検索](#)」を参照)。次に、[ステップ 3](#) に進みます。

**ステップ 3** 適切な設定値を入力します (表 67-1 を参照)。

**ステップ 4** **[保存]** をクリックします。

電話番号の追加と設定の方法については、P.48-3 の「[電話番号の設定](#)」を参照してください。

Cisco Unified CallManager の管理ページに CTI ルート ポイントを追加した後、RIS Data Collector サービスからの情報が、[\[CTI ルートポイントの設定 \(CTI Route Point Configuration\)\]](#) ウィンドウ内に表示されます。デバイスの IP アドレス、およびデバイスが登録されている Cisco Unified CallManager の名前が利用可能であれば、表示されます。

### 追加情報

[P.67-7 の「関連項目」](#) を参照してください。

## CTI ルート ポイントの設定値

表 67-1 では、CTI ルート ポイントの設定値について説明します。関連する手順の詳細については、P.67-7 の「関連項目」を参照してください。

表 67-1 CTI ルート ポイントの設定値


フィールド	説明
[デバイス名]	このデバイスに固有の識別子を、1～15 文字（英数字、ドット、ダッシュ、または下線を含む）で入力します。
[説明]	CTI ルート ポイントの内容を表す名前を入力します。
[デバイスプール]	デバイス プールの名前を選択します。デバイス プールは、自動登録用の CallManager グループ、日付/時間グループ、地域、およびコーリングサーチスペースを含む、このデバイスのプロパティの集合を指定します。
[コーリングサーチスペース]	ドロップダウン リスト ボックスから、コーリングサーチスペースを選択します。コーリングサーチスペースは、収集された（発信）番号のルーティング方法を決定するために検索されるパーティションの集合を指定します。  Max List Box Items エンタープライズパラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するコーリングサーチスペースの数を設定できます。   <b>(注)</b> リスト ボックスの最大項目を設定するには、[システム] > [エンタープライズパラメータ] の順に選択し、[CCMAdmin Parameters] を選択します。
[ロケーション (Location)]	このルート ポイントに適切なロケーションを選択します。ロケーションは、このロケーションとの間のコールに使用可能な帯域幅の合計を指定します。ロケーションに [None] を設定すると、そのロケーションの機能では、このルート ポイントが消費する帯域幅を把握しません。
[メディアリソースグループリスト (Media Resource Group List)]	適切なメディアリソースグループリストを選択します。メディアリソースグループリストは、優先順位順に並べられたメディアリソースグループから構成されます。アプリケーションは、メディアリソースグループリストで定義された優先順位に従って、使用可能なメディアリソースの中から、必要なメディアリソース、たとえば、Music On Hold サーバを選択します。  [< なし >] を選択すると、Cisco Unified CallManager は、デバイスプールに定義されているメディアリソースグループを使用します。  詳細については、『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「メディアリソースの管理」を参照してください。

表 67-1 CTI ルート ポイントの設定値 (続き)

フィールド	説明
[ネットワーク保留 -MOH 音源 (Network Hold MOH Audio Source)]	<p>ネットワークが保留動作を開始するときに再生されるオーディオソースを指定するには、ドロップダウン矢印をクリックし、表示されるリストからオーディオソースを選択します。</p> <p>オーディオソースを選択しない場合、Cisco Unified CallManager は、デバイス プールに定義されているオーディオソースを使用します。または、デバイス プールがオーディオソース ID を指定していない場合は、システム デフォルトを使用します。</p> <p>オーディオソースの定義は、[Music On Hold オーディオソースの設定 (Music On Hold Audio Source Configuration)] ウィンドウで行います。このウィンドウにアクセスするには、[メディア リソース] &gt; [Music On Hold オーディオソース] の順に選択してください。</p>
[ユーザ保留 -MOH 音源 (User Hold MOH Audio Source)]	<p>アプリケーションが保留動作を開始するときに再生されるオーディオソースを指定するには、ドロップダウン矢印をクリックし、表示されるリストからオーディオソースを選択します。</p> <p>オーディオソースを選択しない場合、Cisco Unified CallManager は、デバイス プールに定義されているオーディオソースを使用します。または、デバイス プールがオーディオソース ID を指定していない場合は、システム デフォルトを使用します。</p> <p>オーディオソースの定義は、[Music On Hold オーディオソースの設定 (Music On Hold Audio Source Configuration)] ウィンドウで行います。このウィンドウにアクセスするには、[メディア リソース] &gt; [Music On Hold オーディオソース] の順に選択してください。</p>

## CTI ルート ポイントの削除

CTI ルート ポイントを削除する手順は、次のとおりです。

### 始める前に

1 つまたは複数の電話番号に関連付けられた CTI ルート ポイントを削除できるため、CTI ルート ポイントを使用している電話番号を特定する必要があります。CTI ルート ポイントを使用している電話番号を特定するには、[CTI ルートポイントの設定 (CTI Route Point Configuration)] ウィンドウの [関連リンク] ドロップダウンリスト ボックスから [依存関係レコード] リンクを選択し、[移動] をクリックします。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、P.A-4 の「[依存関係レコードへのアクセス](#)」を参照してください。使用されている CTI ルート ポイントを削除しようとすると、Cisco Unified CallManager はメッセージを表示します。

割り当てられている電話番号をもつ CTI ルート ポイントを削除する場合、ルートプラン レポートを使用して電話番号を検索できます。ルートプラン レポートを使用して電話番号を削除することもできます。

### 手順

---

**ステップ 1** [デバイス] > [CTI ルートポイント] の順に選択します。

[CTI ルートポイントの検索と一覧表示 (Find and List CTI Route Points)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 削除する CTI ルート ポイントの検索に必要な検索条件を指定します。

**ステップ 3** [検索] をクリックします。

ウィンドウの内容が更新され、指定された検索条件と一致する CTI ルート ポイントのリストが表示されます。

**ステップ 4** 次のアクションのいずれかを実行します。

- 削除する CTI ルート グループの横にあるチェックボックスをオンにし、[選択項目の削除] をクリックする。
- ウィンドウ内の CTI ルート ポイントをすべて削除する場合は、[すべてを選択] をクリックし、[選択項目の削除] をクリックする。
- 削除する CTI ルート ポイントの名前を選択して、現在の設定値を表示し、[削除] をクリックする。

**ステップ 5** [OK] をクリックすると、CTI ルート ポイントが完全に削除されます。

---

### 追加情報

P.67-7 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## CTI ルート ポイントのリセット

CTI ルート ポイントをリセットする手順は、次のとおりです。

### 手順

**ステップ 1** [デバイス] > [CTI ルートポイント] の順に選択します。

[CTI ルートポイントの検索と一覧表示 (Find and List CTI Route Points)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 使用する検索条件を選択します。

**ステップ 3** [検索] をクリックします。

検索条件に一致する CTI ルート ポイントがウィンドウに表示されます。

**ステップ 4** リセットする CTI ルート ポイントの横にあるチェックボックスをオンにします。ウィンドウ内の CTI ルート ポイントをすべて選択するには、検索結果表示のタイトルバーにあるチェックボックスをオンにします。

**ステップ 5** [選択項目のリセット] をクリックします。

[デバイスリセット (Device Reset)] ダイアログが表示されます。

**ステップ 6** 次のいずれかのボタンをクリックします。

- [リスタート]: デバイスをシャットダウンしないで再起動する。
- [リセット]: デバイスをシャットダウンしてから起動する。
- [閉じる]: 何も実行しないで、[デバイスリセット (Device Reset)] ダイアログを閉じる。

### 追加情報

P.67-7 の「関連項目」を参照してください。

## 関連項目

- [CTI ルート ポイントの設定 \(P.67-3\)](#)
- [CTI ルート ポイントの検索 \(P.67-2\)](#)
- [CTI ルート ポイントの設定値 \(P.67-4\)](#)
- [CTI ルート ポイントの削除 \(P.67-6\)](#)
- [CTI ルート ポイントのリセット \(P.67-7\)](#)
- 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「コンピュータ テレフォニー統合」

